

平成28年度

主要な施策の成果

<まちづくりの目標>

健康でやすらぐまち

生涯にわたる学びのまち

思いやりとふれあいのまち

(保健福祉部・こども未来部 関係部分 抜粋)

政策 2-1 健康に暮らせるまちづくり

施策 2-1-1 保健予防の推進

(1) 健康づくりの推進

○保健福祉センター利用状況

区 分	保健	子育て	障害	高齢	一般	市機関	合計
利用件数(件)	472	901	479	18	41	47	1,958
利用者数(人)	9,810	24,415	9,314	670	1,305	1,711	47,225

○上記以外（各種相談）利用者数（人）

母性相談	栄養相談	健康相談	子育て 支援総合 センター	障害者 生活支援 センター	ことばの 教室	合計
2,097	26	189	1,162	57	2,749	6,280

○健康教育

・実施状況

区 分	婦人会	老人クラブ	町内会	企業・サークル	その他	合計
実施回数(回)	10	21	14	83	48	176
受講者数(人)	324	498	324	1,813	1,597	4,556

・健康づくり講座

健康づくり教室 実施回数 18回 参加者数 230人

からだスッキリ講座 実施回数 20回 参加者数 631人

・糖尿病予防講座 実施回数 10回 参加者数 80人

・リラクゼーション事業 実施回数 136回 利用者数 1,685人

・帯広市特定健診の結果、糖尿病が重症化するリスクの高い人に訪問や保健指導を行った。
実施者数 79人

○健康相談

・実施回数 面接 81回 利用者数 面接 161人
電話 216回 電話 664人

○自殺対策事業

・多分野合同研修会 実施回数 1回 参加者数 27人

・ゲートキーパー研修会 実施回数 2回 参加者数 42人

○がん検診・健康診査

・20歳・40歳女性へそれぞれ子宮頸がん・乳がん検診無料クーポンの配布を行った。

・実施状況

区 分		検診日数	受診者数
胃 がん 検 診	集 団	93 日	4,941 人
子 宮 がん 検 診	集 団	14 日	1,096 人
	施 設	12 ヲ月	3,802 人
乳 がん 検 診	集 団	16 日	1,459 人
	施 設	12 ヲ月	1,614 人
前 立 腺 がん 検 診	集 団	91 日	2,024 人
	施 設	12 ヲ月	1,406 人
肺 がん 検 診	集 団	94 日	6,142 人
大 腸 がん 検 診	集 団	109 日	5,809 人
	施 設	12 ヲ月	4,860 人
健 康 診 査	集 団	93 日	40 人
	施 設	12 ヲ月	149 人
肝 炎 検 査	集 団	93 日	693 人
	施 設	12 ヲ月	358 人
市 民 健 康 診 査	集 団	93 日	116 人
	施 設	12 ヲ月	50 人
骨 粗 しょう 症 検 診	施 設	12 ヲ月	132 人

・35～39歳健診・市民検診・健康診査保健指導（初回支援実施分）

積極的支援	利用者数	2人
動機付け支援	利用者数	0人

・子宮頸がんワクチン予防接種実施状況

子宮頸がん予防ワクチン	接種者数	1人
-------------	------	----

・小規模事業所及び生活保護受給者に対し、がん検診等の周知啓発を実施した。

・ピロリ菌尿中抗体検査実施状況

市内に居住する中学3年生のうち希望者に対し実施 受験者数 995人

○訪問保健指導

・訪問指導実施状況

区分	健康診査の 要指導者等	閉じこもり 予 防	介護家族者	寝たきり者	認知症老人	その他	合 計
実訪問者数(人)	72	1	1	0	1	17	92
延訪問者数(人)	90	3	1	0	1	41	136

○健康都市おびひろの魅力発信

・健康都市連合日本支部総会への参加

千葉県流山市で開催された健康都市連合日本支部総会に参加し、帯広市の健康づくり事業や「オビロビ」の紹介などを行った。

・第31回おびひろ健康まつりの実施

開催日 9月4日 参加者数 1,204人

・スマートライフプロジェクトの推進

「健康寿命をのばしましょう。」をスローガンに運動、食生活、禁煙の3分野について具体的なアクションの呼びかけを行うスマートライフプロジェクトを推進した。

〔実施結果〕

平成28年度までの総登録数 51企業・団体
健康機器貸出

歩数計 30企業・団体 370個
 出前健康講座、健康づくり教室（企業）
 出前健康講座 34社 1,093人
 健康づくり教室（企業） 1社 15人
 健康づくりPR映像による情報発信
 企業、団体への出前講座や、健康づくり事業などで啓発に活用

- ・健康づくり連携プロジェクトの推進
 企業と連携した健康づくり講座の開催
 企業と連携した野菜摂取推進の啓発

○身体障害者体力向上事業

・実施回数 234回 実参加者数 102人 延参加者数 4,982人

○公衆浴場活性化推進事業

- ・浴場経営の安定化と、公衆衛生の維持増進に寄与することを目的とし、補助を行った。
 家族・地域の絆を育むふれあい銭湯事業補助金 12件

【保健福祉部 健康推進課】

(2) 感染症対策の推進

○予防接種

- ・実施状況

区分	四種混合	二種混合	不活化ポリオ	麻しん・風しん混合	水痘	ヒブ	小児用肺炎球菌	日本脳炎	B型肝炎
接種者数(人)	5,242	1,053	140	2,517	2,239	5,077	5,192	6,221	2,122

※四種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ）、二種混合（ジフテリア・破傷風）

○結核予防

- ・検診実施状況

区分	BCG接種	間接撮影
受診者数(人)	1,297	6,324

○感染症予防

- ・インフルエンザ予防接種実施状況

インフルエンザ対策として、受験生への補助及び65歳以上の高齢者への一部費用助成を行った。

中学校3年生・高校3年生 接種者数 1,140人
 高齢者（65歳以上） 接種者数 20,365人

- ・成人用肺炎球菌ワクチン接種実施状況

肺炎感染や症状の重篤化を予防するため、65歳以上（5歳刻み）及び60歳以上65歳未満の特定疾患のある人を対象に成人用肺炎球菌ワクチン接種の一部費用助成を行った。

接種者数 3,914人

- ・エキノコックス症検査実施状況

区分	一般	児童・生徒
血清検査受診者数(人)	50	2

【保健福祉部 健康推進課】

施策 2-1-2 医療体制の充実

(1) 地域医療体制の充実

- 看護師等養成機関確保対策
 - ・看護師養成機関への補助 3件
- 潜在看護師の就職支援
 - ・「潜在看護師研修会」の実施
- 歯科衛生士科開設支援
 - ・帯広コア学園の校舎増改築費の一部を補助
- 公的精神科病院運営費補助事業
 - ・北海道の補助金を活用し、地域の精神医療を担う公的病院の運営を補助 1件
- 帯広厚生病院運営費補助事業
 - ・公的病院への特別交付税措置を活用し、帯広市70%、管内18町村30%の負担割合で不採算医療部門の収支不足額（上限2億700万円）を補助

【保健福祉部 健康推進課】

(2) 救急医療体制の充実

- 休日、夜間における急病診療体制
 - ・一次救急

区 分	内 容	患者数（人）		
		市民	市民以外	合 計
休日夜間急病センター	夜間 午後 9:00～翌午前 8:00	5,094	1,828	6,922
在宅当番医制	夜間 午後 7:00～ 午後 9:00	4,100	1,578	5,678
在宅当番医制及び 休日夜間急病センター	休日 日曜 午前 9:00～ 午後 5:00	7,173	4,152	11,325
休日歯科在宅診療	休日 日曜 午前 9:00～ 午後 4:00	291	213	504
合 計		16,658	7,771	24,429

- ・二次救急

区 分	厚生病院	協会病院	第一病院	合 計
待機日数（日）	203	116	117	436
患者数（人）	1,841	674	517	3,032

※患者数は市民のみ

- ・二次救急協力医療機関

区 分	開西病院	協立病院	北斗病院	合 計
待機日数（日）	25	25	180	230
患者数（人）	38	27	605	670

※患者数は市民のみ

- ・休日、夜間における一次救急医療機関の案内
急病テレホンセンター案内状況

音声テープ案内 (件)	職員対応 (件)	合計 (件)
3,803	4,710	8,513

※職員対応の件数は市民のみ

- ・二次救急医療体制の充実のため、二次救急医療を担う3病院及び協力病院との連携を図った。
- ・道東ドクターヘリの十勝圏域への運航圏域拡大を図った。

【保健福祉部 健康推進課】

政策2-2 やすらぎのあるまちづくり

施策2-2-1 地域福祉の推進

(1) 地域福祉活動の充実

○地域福祉活動支援

- ・地域福祉事業の中心的役割を担う社会福祉協議会を支援し、地域福祉活動の推進を図った。
- ・地域での交流活動の支援などにより、支え合う地域福祉活動を促進した。

地域交流サロン参加者数 21,571人

○民生委員・児童委員活動

- ・民生委員・児童委員活動を支援し、地域における相談活動の充実を図った。

○成年後見制度利用支援事業

- ・本人に代わり契約や財産管理を行う成年後見制度の利用を支援したほか、帯広市成年後見支援センター「みまもーる」において市民後見人養成講座を開催するなど、高齢者等の権利擁護を図った。

○グリーンプラザ管理運営

- ・福祉団体等の活動拠点であるグリーンプラザを管理運営し、地域福祉活動の促進を図った。

グリーンプラザ利用状況

区分	高齢者	障害者	地域福祉	一般	公的	合計
利用件数 (件)	4,281	8	4,536	123	478	9,426
利用人数 (人)	89,308	72	33,076	1,609	11,355	135,420

○地域福祉推進事業

- ・きづきネットワーク事業

困難ケース対応件数 271件 (延件数 501件)

【保健福祉部 社会課・高齢者福祉課】

(2) ボランティア活動の促進

○ボランティア育成

- ・ボランティアの養成や活動を支援し、活動の促進を図った。

ボランティアセンター登録者数 3,816人

【保健福祉部 社会課】

(3) 保健・福祉・医療の連携推進

○健康生活支援審議会

・健康生活支援審議会の運営を通して、地域福祉計画に基づき、保健・福祉・医療に関する施策を総合的に推進した。

【保健福祉部 社会課】

(4) 社会福祉活動の充実

○高齢者向け給付金給付事業

・社会保障・税一体改革の一環として平成29年度から実施される年金生活者等給付金の前倒し的な位置づけになることも踏まえ、また、厳しい財政事情の下で個人消費の下支えにも資する支援を行う観点から、一人あたり年金生活者支援給付金（満額で年6万円）の半年分に相当する3万円を給付した。

支給者数 17,332人

○臨時福祉給付金給付事業

・消費税率の引き上げに伴い、低所得の住民に与える負担の影響に鑑み、低所得の住民に対する適切な配慮を行うため、暫定的・臨時的な措置として一人あたり3千円を支給した。

支給者数 30,506人

○障害・遺族基礎年金受給者向け給付金給付事業

・一億総活躍社会の実現に向け、賃金上げの恩恵が及びにくい所得の少ない年金受給者を支援するため、上記の臨時福祉給付金の対象者のうち、平成28年5月分の障害基礎年金や遺族基礎年金等を受給している方に一人あたり3万円を支給した。

支給者数 1,236人

【保健福祉部 社会課】

施策2-2-2 高齢者福祉の推進

(1) 高齢者の生きがづくり

○高齢者おでかけサポートバス事業

・対象者数 34,965人

・交付者数 19,990人

○高齢者いきいき元気事業

・高齢者の交流と介護予防や趣味などのサークル活動の場を提供するため、平成28年12月に高齢者いきいきふれあい館「まちなか」を開設した。

○老人クラブ等活動支援

・老人クラブ育成 対象クラブ数 148団体 7,424人

・老人専用バスの貸出 利用回数 84回 2,001人

・高齢者スポーツ大会の開催 参加者数 477人

○敬老祝金支給

・祝金支給人数 88歳 671人

・祝品贈呈人数 100歳 42人

【保健福祉部 高齢者福祉課】

(2) 介護予防の推進

○介護予防事業

- ・介護予防二次予防事業

「口腔機能の向上」プログラム 実施回数 4回 参加実人数 1人

- ・二次予防事業の対象者把握事業

二次予防事業の対象者数 1人

- ・介護予防普及啓発事業

みんなで活動スタートコース 実施回数 503回 参加延人数 2,560人

- ・介護予防活動支援事業

いきいき温泉事業 実施回数 120回 参加実人数 95人

口腔機能の向上に関する講座 実施回数 52回 参加延人数 255人

栄養改善に関する講座 実施回数 55回 参加延人数 271人

リハビリテーション職による介護予防に関する講座
実施回数 56回 参加延人数 313人

介護予防サポーター推進事業 実施回数 450回 参加延人数 2,065人

○介護予防・日常生活支援総合事業

- ・新たなサービス実施に向けたシステム改修や、リーフレット・広報紙による事業者・市民への周知を行った。

【保健福祉部 高齢者福祉課・介護保険課】

(3) 在宅サービスの充実

○高齢者在宅サービス支援

- ・ねたきり高齢者等寝具類クリーニングサービス

利用実回数 178件 利用実人数 111人

・ねたきり高齢者等理美容サービス 利用実回数 448件 利用実人数 123人

・高齢者在宅生活援助サービス 利用実回数 275件 利用実人数 73人

○高齢者在宅生活支援事業

- ・家族介護者リフレッシュ事業

実施回数 8回（日帰り温泉：4回 食事会等：4回） 参加実人数 96人

○家族介護用品支給事業

- ・利用実人数 159人

○生活支援サービス体制整備事業

- ・地域における互助の仕組みを充実させるため、生活支援サービスの体制整備に関する協議体を設置し、第1層生活支援コーディネーターを1人配置した。

○地域包括支援総合センター運営

- ・地域包括支援センターサテライト相談窓口を川北圏域に開設した。

【保健福祉部 高齢者福祉課】

(4) 施設サービスの充実

○老人福祉施設整備補助事業

- ・建設費・増改築費償還補助 12事業所

【保健福祉部 高齢者福祉課】

○介護老人保健施設整備補助事業

- ・建設費・設備費償還補助 1事業所

【保健福祉部 健康推進課】

○地域介護・福祉空間整備事業

- ・小規模特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護事業所、認知症高齢者グループホームに対する施設整備を補助 5事業所
- ・介護従事者の介護負担軽減のため、介護保険施設・事業所の介護ロボット等の導入を補助 8事業所
- ・高齢者施設等の防災・防犯対策の強化を図るため、防犯カメラ・非常通報装置等の導入を補助 8事業所

【保健福祉部 高齢者福祉課】

(5) 地域で支える仕組みづくり

○高齢者相談支援

- ・ひとり暮らし登録者数 2, 192人
- ・寝たきり・認知症登録者数 134人

○ひとり暮らし高齢者緊急通報システム事業

- ・設置台数 709台 (固定型486台、モバイル型223台)

○高齢者在宅生活支援 (ひとり暮らし高齢者訪問活動事業)

- ・利用実人数 758人

○高齢者虐待防止ネットワーク事業

- ・虐待通報件数 42件 (うち虐待の認定件数 19件)
- ・帯広市高齢者虐待防止研修会開催 出席者 243人

○高齢者総合相談事業

- ・総合相談窓口を設置し、高齢者や家族に対する総合的な支援を行った。
総合相談窓口、保健福祉センター相談窓口受理件数 35, 041件

○高齢者保健福祉計画推進業務

- ・帯広市健康生活支援審議会高齢者支援部会を開催し、高齢者福祉に関する施策を総合的に推進した。

○認知症高齢者見守り事業

- ・認知症サポーター養成講座 実施回数 71回 参加延人数 2, 114人
- ・出前講座 実施回数 39回 参加延人数 720人
- ・認知症家族の集い・茶話会 実施回数 18回 参加延人数 154人
- ・認知症ケアパス (認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れ) を作成した。
- ・認知症初期の本人及び家族に対し、早期に適切な医療や介護ケアを提供するため、認知症初期集中支援チームを設置した。
- ・本人や家族等が交流できる認知症カフェを8ヵ所登録し、周知を図った。

○高齢者在宅生活支援 (食の自立支援事業)

- ・総配食数 95, 996食 利用実人数 610人

【保健福祉部 高齢者福祉課】

施策 2-2-3 障害者福祉の推進

(1) 障害者理解の促進

○障害者理解促進

・ノーマライゼーションエリア推進事業

推進地区に指定している大正地区、大空・南の森地区、東部地区、西帯広地区において、ノーマライゼーション理念の普及啓発をはじめ、ふれあい交流事業や研修事業等各種事業を行った。

・手話言語条例推進事業

手話言語条例制定に伴う記念講演会を開催したほか、広報紙や出前講座等による市民向け周知・啓発、市職員への手話研修を通じて、手話やろう者への理解を深めた。

・障害者差別解消の推進

障害者差別解消法の施行に伴い、障害を理由とする差別に関する相談や、課題解決・紛争防止の取り組みを進めるため、障害者差別解消支援地域協議会の機能を持った組織として帯広市地域自立支援協議会に「差別解消部会」を設置した。

・障害者意識啓発活動

帯広駅内公共スペースの「福祉のひろば」と保健福祉センターを活用し、障害者が作成した作品等の展示・即売会や福祉機器の展示会を開催することにより、障害者の交流の機会を拡大するとともに、障害者への理解を深めた。

○障害者虐待防止事業

・障害者虐待防止センター事業

虐待防止マニュアル・リーフレット配布

虐待通報の受付窓口

虐待通報・相談件数

44件（うち虐待の認定件数 4件）

【保健福祉部 障害福祉課】

(2) 日常生活支援の充実

○障害者自立支援給付

・介護給付・訓練等給付

延利用者数 27,382人

・計画相談支援

利用者数 1,419人

・障害者自立支援医療費

自立支援医療（精神通院）受給者証交付状況

交付者数 2,991人

更生医療の給付

受給者数 563人

（うち生活保護受給者の人工透析

利用者数 67人）

・障害者補装具

交付・修理件数 644件

○重度心身障害者医療給付

・対象者数

3,574人

・助成件数

73,103件

○特別障害者手当等支給

受給者数 197人

○障害者福祉サービス

・福祉団体バス運行事業

福祉団体利用分 39件

・精神障害回復者通所施設交通費助成

利用者数 104人

・心身障害者（児）通所施設等交通費助成

利用者数 551人

・重度障害者等移動制約者タクシー料金助成

利用者数 2,660人

・在宅重度身体障害者緊急通報システム	設置数	37台
・重度心身障害者理美容サービス	延利用者数	126人
・重度心身障害者クリーニングサービス	延利用者数	58人
○障害者日常生活用具給付		918件
・給付対象用具にパルスオキシメーター測定センサーを追加した。		
○障害者相談支援		
・基幹相談支援センター		1カ所
・委託相談支援事業所		5カ所
・相談体制 総合相談員等 10人	相談件数	15,327件
・帯広市地域自立支援協議会	開催回数	12回
○各種手帳の交付		
・身体障害者手帳交付状況	交付者数	7,576人
・療育手帳交付状況	交付者数	1,845人
・精神障害者保健福祉手帳交付状況	交付者数	1,507人
○障害者コミュニケーション支援		
・手話奉仕員養成講座（昼、夜の部）	各40回開催	延参加者数 2,663人
・要約筆記奉仕員養成講座 13回開催		延参加者数 128人
・視覚障害者ボランティア養成講座 8回開催		参加者数 19人
・手話通訳者派遣		派遣件数 547件
・要約筆記通訳者派遣		派遣件数 56件

【保健福祉部 障害福祉課】

(3) 自立した地域生活への支援の充実

○障害者社会参加促進

・回復者クラブ活動事業補助		5件
・かっぱ水泳教室		
帯広の森市民プール 5月11日～7月27日（毎週水曜日）		
	12回開催	延参加者数 138人
・フロアカーリング教室		
帯広の森体育館 2月18日	参加者数	22人

・障害者職場体験実習

障害者の就労体験の場を確保するとともに、就労意欲の向上や一般企業への実習受入れを促進するため、市内の就労移行支援事業所等を利用している障害のある方を対象として、市役所内各部署で職場体験実習を行った。

参加者数	11人（6事業所）
受入部署数	5課
実習後就職者数	3人

・第30回全道肢体不自由児者福祉大会の開催

北海道肢体不自由児者福祉連合協会の会員及び各関係機関職員等が一同に会し、肢体不自由児者の福祉の向上を図ることを目的とした大会の開催を補助した。

参加者数	250人
------	------

○障害者地域生活支援事業

・在宅身体障害者各種創作活動等の教室（４教室）	開催回数	128回
	延参加者数	1,531人
・障害者生活支援センター事業（在宅障害者講座など）	開催回数	11回
	延参加者数	305人

○地域生活支援給付事業

・移動支援、日中一時支援、訪問入浴サービスの提供により、障害のある人の地域における自立した生活を支援した。

移動支援	延利用者数	508人
日中一時支援	延利用者数	907人
訪問入浴サービス	延利用者数	148人

○地域活動支援センター

9カ所

○地域移行支援事業

・地域支え合い体制づくり拠点事業	サポーター登録者数	118人
・中途視覚障害者リハビリテーション事業	延利用者数	40人
・身体障害者送迎事業	延利用者数	3,442人
・福祉ホーム運営費補助		1件

【保健福祉部 障害福祉課】

施策2-2-4 社会保障の推進

(1) 介護保険制度の健全な運営

○被保険者数（平成29年3月末現在）

世帯数				被保険者数			
総世帯数 (世帯)	第1号被保険者世帯数 (世帯)	第1号被保険者世帯数 対前年比	総世帯数に 占める第1号被保険者世帯数の割合	総人口 (人)	第1号被保険者数 (人)	第1号被保険者数対前年比	総人口に占める第1号被保険者数の割合
86,670	33,003	102.4%	38.1%	167,560	45,912	102.3%	27.4%

○要介護認定状況（平成29年3月末現在）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者 (人)	1,445	1,482	2,260	1,334	983	903	753	9,160
第2号被保険者 (人)	18	30	43	33	17	19	23	183
総数(人)	1,463	1,512	2,303	1,367	1,000	922	776	9,343

○サービスの利用状況（延人数）

区分	居宅介護サービス	地域密着型サービス	施設介護サービス				サービス受給者計
			介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	小計	
第1号被保険者 (人)	64,442	18,143	5,977	5,767	433	12,177	84,974
第2号被保険者 (人)	1,395	173	55	107	8	170	1,679
総数(人)	65,837	18,316	6,032	5,874	441	12,347	86,653

※居宅介護サービスとその他のサービスをともに利用している方がいることから、それぞれの計と合計は一致しない。

○介護保険料軽減の状況（帯広市独自軽減分）

人数（人）	軽減額（円）	軽減前の額（円）	軽減後の額（円）	軽減率（％）
354	5,441,960	14,198,010	8,756,050	38.33

・世帯一人当りの収入が、老齢福祉年金相当額以下

所得段階	基 準	人数（人）	保険料（円）	軽減額（円）	軽減後の額（円）
第1段階	生活保護受給者を除く、世帯一人当りの収入が老齢福祉年金相当額以下の場合（老齢福祉年金受給者含む）	102	29,540	14,770	14,770
第2段階	世帯一人当りの収入が老齢福祉年金相当額以下の場合	0	44,630	29,860	14,770
第3段階		0	49,230	34,460	14,770
第4段階		0	59,070	44,300	14,770
第5段階		0	65,640	50,870	14,770

・生活保護基準なみの世帯

所得段階	基 準	人数（人）	保険料（円）	軽減額（円）	軽減後の額（円）
第2段階	単身世帯で前年収入130万円以下の場合。ただし、世帯員が一人増えるごとに60万円を加算する。	201	44,630	15,090	29,540
第3段階		43	49,230	19,690	29,540
第4段階		7	59,070	29,530	29,540
第5段階		0	65,640	36,100	29,540

・自宅買い換えによる軽減

所得段階	基 準	人数（人）
第6段階 ～ 第15段階	平成27年中に自宅を売却し、売却した日から平成28年12月末までに自宅を購入した場合	1

○介護給付等費用適正化事業

・介護支援専門員の職能団体にケアプラン点検事業を委託し、書類確認に基づく個別ヒアリング、点検により生じた課題を踏まえた研修会を実施し、ケアプラン作成の適正化を図った。

ケアプラン点検件数 58事業所 72件

ケアプラン作成研修会 開催数 1回 参加者数 108人

○第六期介護保険事業計画に基づく保険料改定

・介護給付費準備基金の計画的な繰入により、第六期（平成27～29年度）の保険料基準額の抑制を図った。

また、消費税率引き上げに伴う、社会保障の充実により、第1段階の保険料額の軽減を実施し、低所得者の負担の抑制を図った。

○潜在介護士等復職支援研修会

・子育て等により離職した介護の資格者を対象に復帰に向けた研修会等を実施し、介護人材の確保を図った。

受講者数 5人

【保健福祉部 介護保険課】

(2) 生活保護制度の適正な運用

○生活保護の現況

保護区分	延人員 (人)	保護区分	延人員 (人)
生活扶助	57,276	生業扶助	1,818
住宅扶助	56,812	葬祭扶助	20
教育扶助	4,818	就労自立給付金	7
介護扶助	10,084	冬季薪炭費	0
医療扶助	54,890	施設事務費	564
出産扶助	1		
		月平均世帯数	3,885 世帯
		月平均人員	5,180 人
		月平均支出額	699,276 千円

○早期把握・自立支援事業

- 生活保護受給者の自立支援の充実、強化に向け、様々なプログラム事業を実施した。

体験的就労型社会参加プログラム

週1回程度の農作業体験を通して、社会参加意欲、就労意欲の向上を図った。

参加者数 20人

屋内作業体験プログラム

週1回～3回の屋内作業を通して、社会参加意欲、就労意欲の向上及び就労に必要な技能の習得を図った。

参加者数 10人

就労準備型社会参加プログラム

週1回程度の公園管理体験を通して、就労に対する不安感の払拭と自信の回復を図った。

参加者数 3人

若年者訪問支援プログラム

生活保護受給世帯の概ね16歳～40歳までのひきこもり等の若年者を訪問し、社会的自立に向けた支援を行った。

支援者数 3人

○生活困窮者自立促進支援事業

- 生活困窮者の自立支援の充実、強化に向け、様々な事業を実施した。

生活困窮者自立相談支援

自立相談事業所（自立相談支援センターふらっと）において、生活困窮者が抱える多様で複合的な課題に応じて、継続的かつ計画的な支援を行った。

相談件数 194件

生活困窮者住居確保給付金の支給

離職等により経済的に困窮し、住居を喪失した市民又は住居を喪失するおそれのある市民に対し、家賃相当分の住居確保給付金を支給した。

支給世帯数 4世帯

支給月数 延10ヵ月

生活困窮世帯の子どもに対する学習支援

生活困窮世帯の子どもに対する学習支援や居場所づくり、保護者への助言などを行った。

中学生学習支援プログラム 参加者数 15人

子ども健全育成プログラム 参加者数 12人
 生活困窮者就労準備支援事業

就労に必要な訓練を日常生活自立：社会生活自立段階から有期で行った。

参加者数 3人

【保健福祉部 保護課】

政策2-3 子どもたちが健やかに育つまちづくり

施策2-3-1 子育て支援の充実

(1) およこの健康支援

○妊婦・乳幼児健康診査

・妊婦健康診査

妊婦一般健康診査 延受診者数 16,779人

超音波検査 延受診者数 7,873人

・乳幼児健康診査

区 分	5か月児	10か月児	1歳6か月児	3歳児
受診者数(人)	1,299	1,219	1,253	1,318

・歯科保健事業

幼児歯科健診 延受診者数 7,481人

フッ素塗布 延受診者数 6,489人

○母子保健相談指導

・両親教室・育児教室事業

ほんわかファミリー教室 参加組数 278組

すくすく教室 参加組数 320組

・母子保健サービス提供事業

母性相談室 利用者数 2,097人

母子訪問指導員による新生児、産婦訪問指導
 実施件数 822件

家庭訪問

区 分	妊産婦	新生児	乳 児	幼 児	その他
延訪問件数(件)	747	663	216	500	355

特定不妊治療費助成 助成件数 135件

栄養食品支給(牛乳、粉ミルク) 延支給者数 171人

○心の発達支援事業

・すこやか親子教室 延参加組数 1,135組

○性の相談事業

・性の電話相談 延相談件数 628件

○食育推進事業

・親子料理教室 参加組数 18組

・パパの料理教室 参加組数 10組

【こども未来部 子育て支援課】

(2) 保育サービスの充実

○保育所整備

- ・保育所の老朽化したフェンスの改修整備を行った。

○公立保育所管理運営

- ・各保育所の修繕を行った。
- ・育休退所制度を廃止するため、クラスを2ヵ所新設し、低年齢児受け入れ体制の拡充を行った。
- ・施設数及び入所児童数の状況

施設区分	施設数(所)	定員(人)	月平均入所児童数(人)
認可保育所	10	960	870

○私立保育所(園)運営

- ・認可保育所に対して、保育士等の処遇改善に関する給付を行った。
- ・施設数及び入所児童数の状況

施設区分	施設数(所)	定員(人)	月平均入所児童数(人)
認可保育所	16	1,610	1,787
小規模・事業所内保育施設	2	49	38

○へき地保育所運営

- ・各へき地保育所の修繕を行った。
- ・へき地保育所の認可保育所への移行に向けた取り組みを行った。
- ・施設数及び入所児童数の状況

施設区分	施設数(所)	定員(人)	月平均入所児童数(人)
へき地保育所	6	345	227

○認定こども園等施設運営

- ・施設型給付を受ける認定こども園及び幼稚園に給付を行った。

施設区分	施設数(園)	定員(人)	月平均入所児童数(人)
認定こども園	4	670	780
幼稚園	1	100	105

○児童保育センター整備

- ・各児童保育センターの修繕を行った。
- ・第2緑ヶ丘児童保育センターの移転改築を行った。

○児童保育センター管理

- ・児童保育センター支援員等の処遇改善に必要な補助を行った。
- ・施設数及び入所児童数の状況

施設区分	施設数(所)	月平均入所児童数(人)
児童保育センター	39	1,875
夜間児童保育センター	1	13

○延長保育事業

- ・緑ヶ丘保育所 外25所 日平均利用児童数 184人

○乳児保育事業

- ・帯広保育所 外22所 月平均入所児童数 189人

○病後児保育事業

- ・ChipS、ひなたぼっこ 延利用児童数 210人

○特別支援保育事業

- ・特別支援児保育 緑ヶ丘保育所外25所 特別支援児童数 87人

	要支援児童数	93人		
	合計	180人		
○休日・一時保育事業				
・休日保育（すずらん保育所）	延利用児童数	1,574人		
・一時保育（すずらん保育所、豊成保育所、こでまり保育園）	延利用児童数	7,948人		
○広域入所事業				
	延利用児童数	3人		
○子育て短期支援事業				
・子育て短期支援事業の実施（十勝学園）	延利用児童数	49人		
○子育て支援				
・保育士等資質向上事業				
保育士研修会	5回	延参加者数	1,204人	
保育士向けゼミ	3回	延参加者数	75人	
保育実践交流会	2回	延参加者数	59人	
○食育推進事業（保育所）				
・行事食等の提供を行った。				
年9回	こどもの日、ひな祭り、クリスマス、ふるさと給食（6回）			
・保護者に幼児期の食生活の重要性を理解してもらうため、食育講座を実施した。				
実施保育所	9所	延参加者数	157人	
○保育料の負担軽減				
・多子世帯及びひとり親世帯等の保育料について軽減を行った。				
・税制上寡婦控除が適用にならない、未婚の母子・父子家庭に対し、保育料について寡婦控除を適用した。				
対象者数	6人			

【こども未来部 こども課】

（3）幼稚園教育の促進

○幼稚園振興				
・幼稚園・保育所連携促進事業				
幼保小中連携推進委員会を設置し、エリア会議、児童交流等により、児童の発達に応じた適切な環境を整え、市全体の連携体制の推進を図った。				
幼稚園・保育所合同研修会	1回		73人	
・幼稚園教育環境整備支援事業				
幼稚園の特色ある教育活動及び預かり保育に要する経費の一部を補助し、幼稚園教育の環境整備の充実に努めた。				
対象園数	14園			
特別支援教育に要する経費の一部を補助し、特別支援児の就園促進を図った。				
対象園数	9園			
幼稚園教員の資質向上のため、教員研修費を補助し、幼稚園教員の研修機会の充実に努めた。				
対象園数	9園			

○幼稚園就園奨励

・父母の経済的負担を軽減し、幼児の就園促進を図るため、就園奨励費補助を実施し、幼稚園教育の充実に努めた。また就園奨励費については、国の制度見直しに伴い、補助額の拡充を行った。

就園奨励費支給者数 1, 139人

・東日本大震災の発生を受け、被災した幼児の私立幼稚園への就園を奨励した。

対象園児 2人

【こども未来部 こども課】

(4) 地域での子育て支援の充実

○地域交流推進事業

・親子で保育参加事業	78回	93組	206人
・保育と給食体験事業	26回	46組	69人

○子育て支援（のびのび子育て応援事業）

・あそびの広場事業	200回	1, 384組	2, 436人（公立9所分）
・こんにちは赤ちゃん訪問	566回		
・サンデーファミリー事業	12回	233組	647人

【こども未来部 こども課】

○子育て支援総合センター

・子育て支援総合センター設置	箇所数	1カ所
・ファミリーサポートセンター事業		

安心して子育てできる環境を整えるため、市民相互による子育て支援の仕組みであるファミリーサポートセンター事業の会員を増やす取り組みを引き続き行った。

会員数	501人	援助活動件数	776件
-----	------	--------	------

・絵本との出会い事業

生後5か月児の乳児を持つ家庭に絵本を配布	配布児童数	1, 301人
----------------------	-------	---------

○子育て支援センター

・地域子育て支援センター設置	箇所数	6カ所
----------------	-----	-----

○子育て応援事業所促進

・子育て応援事業所登録制度	登録事業所数	255事業所
---------------	--------	--------

○家庭教育学級

・家庭教育学級	12学級	学級生数	155人
---------	------	------	------

○子ども発達支援

・幼児ことばの教室	実通室児数	90人
・発達支援センター	実通園児数	214人
・肢体不自由機能訓練事業	参加組数	親子10組
・軽度・中等度難聴児への補聴器購入費の助成	助成件数	2件
・こども発達相談室		
発達相談	相談件数	312件
2歳・3歳児相談の実施	相談件数	164件
帯広市地域自立支援協議会こども生活支援会議	開催回数	8回

【こども未来部 子育て支援課】

(5) 子育て家庭への支援

○児童手当

- ・受給対象世帯数（2月定時払） 11,257世帯

○児童扶養手当

- ・受給対象者数 2,583人（うち父子家庭165人）

○乳幼児等医療費給付

- ・0歳児から小学校修了前までの乳幼児等の医療費負担を軽減するため、自己負担分の全部又は一部を助成した。

対象者数 13,974人（年度平均）

助成件数 172,669件

○ひとり親家庭等医療費給付

- ・対象者数 5,360人
- ・助成件数 64,522件

○助産施設入所措置援護

- ・児童福祉法による助産施設において助産を行った。

帯広協会病院、帯広厚生病院 措置件数 27件

○母子家庭等日常生活支援事業

- ・母子・父子家庭へ家庭生活支援員の派遣を行った。

子育て支援 3人 延日数 8日 延時間数 57時間

生活援助 1人 延日数 15日 延時間数 30時間

○母子家庭等自立支援教育訓練給付

- ・ひとり親家庭の親に、就職用教育訓練講座受講費用の一部を助成した。

介護職員初任者研修等 2人

○母子家庭等高等職業訓練促進給付

- ・資格取得を促進するため、養成機関に修業するひとり親家庭の親に訓練促進費を支給し、修了後には修了一時金を支給した。

支給者 11人 修了支援給付金支給者 8人

○母子家庭等就業・自立支援事業

- ・ひとり親家庭に対する各種の相談活動を行った。

母子・父子自立支援員 1人配置 相談件数 301件

- ・母子家庭等就業・自立支援センター

北海道と共同でひとり親家庭の親の自立を支援するため就業相談を実施した。

相談件数 220件（うち帯広市分155件）

○未熟児養育医療給付

- ・医師が入院養育を必要と認めた未熟児について、指定養育医療機関にて必要な医療の給付を行った。

給付実人数 31人

【こども未来部 こども課】

○介護給付・地域生活支援事業（児童）

- ・ホームヘルプ 受給児童数 38人

- ・ショートステイ 受給児童数 41人

・児童通所支援	受給児童数	699人
・計画相談支援	受給児童数	393人
・移動支援	受給児童数	60人
・日中一時支援	受給児童数	354人
・訪問入浴	受給児童数	5人
○特別障害者手当等支給（児童）		
・特別児童扶養手当	受給資格者数	496人
○子育て支援（児童虐待予防・防止対策推進事業）		
・家庭児童相談室	相談件数	592件

【こども未来部 子育て支援課】

施策2-3-2 青少年の健全育成

（1）青少年を育む環境の整備

○青少年健全育成

・子ども110番の家	設置件数	1,102件
------------	------	--------

○子どもの居場所づくり事業

・放課後子ども広場

小学校を核として、学校や児童保育センターと連携しながら、放課後や週休日などに、児童が異学年の児童や地域住民と交流する機会と場所を設け、地域の大人、NPO法人等がボランティアとして特別教室等を活用して、児童へ多様な体験活動を提供する居場所づくりを行った。

放課後子ども広場	26校	延参加児童数	25,199人
----------	-----	--------	---------

○青少年センター事業

・指導員及び指導協力員等による街頭指導や、相談員による青少年の悩み相談を実施し、非行防止や環境改善に努め、青少年の健全育成の助長を図った。

街頭指導・声かけ総数	452回	410人
相談指導	116回	37人
立入調査	163事業所	

・若者自立支援相談窓口

ヤングテレホン相談に若者自立支援相談窓口を追加して、若者の自立支援を行った。

【こども未来部 青少年課】

（2）体験活動の促進

○体験活動促進

・地域子ども会リーダー宿泊研修会		参加者数	235人
・ジュニアリーダー養成講座「あすかの会」		会員数	24人
・ジュニアリーダー「あるふあの会」		会員数	48人
・ジュニアリーダーコース		参加者数	2人
・北海道地域子ども会リーダー研修会		参加者数	4人
・子ども王国(プラザまつり)		参加者数	800人
・十勝こども雪合戦		参加者数	279人
・中学生からのメッセージ	14校	参加者数	14人
・大人の集い		参加者数	1,189人

- ・おびひろキッズタウン 参加者数 372人
- ・若者向けまちづくり活動などの情報収集、提供

【こども未来部 青少年課】

(3) 体験活動施設の整備・利活用

○児童会館等の利活用

・子供たちの科学する心や創造性・社会性を育むため、日帰り・宿泊学習のほか科学クラブや文化クラブなどの事業を行うとともに、野草園・岩内自然の村の管理を行った。

施設の利用状況

施設名	利用者数(人)
児童会館	138,204
野草園	11,991
岩内自然の村	13,242

○実験実習・児童文化行事

・科学関連事業

科学展示室入場者		31,041人
プラネタリウム入場者		11,311人
星の観察会	11回	420人
自然体験クラブ	6回	111人
親子科学実験教室	8回	318人
少年少女発明クラブ	19回	295人
親子おもしろ教室	10回	490人
中学生科学研究発表会	11月5日	40人
理科クラブ	10回	176人
科学相談		6人

・文化関連事業

宿泊学習・日帰り理科学習	82校	2,910人
宿泊研修	12団体	505人
子どもウィーク・わくわくこどもまつり	5月3日～5日	3,382人
冬まつり(氷まつり協賛行事)	2月5日	848人
人形劇公演	11回	596人
親子エンジョイ将棋	10回	214人
親子囲碁入門教室	12回	98人
もっくん教室	8回	340人
星空のコンサート	4回	227人
全十勝小中学生将棋大会	3月19日	349人
帯広児童劇団公演	11月27日	929人

・国際協力事業

JICA理科実験教育研修コースの実施	10月～12月	17人
--------------------	---------	-----

・わくわく教室

	8月7日	615人
	1月8日	700人
	3月28日～29日	881人

・出前講座

小学校	8校	17クラス	586人
-----	----	-------	------

放課後・学童保育	7カ所	150人
保育所	20所	1,912人
○社会教育施設連携アクションプログラム (実施事業については、6-2-1-(1)学習活動の支援に記載)		
○野草園管理運営		
・野草園開園の集い	4月29日	51人
・野草園散策会(春・秋)	2回	174人
・「野草園の花」作品展	7月11日～15日	864人
○農業体験実習館管理運営		
・岩内自然の村関連事業(食育・工作体験)	7月31日、8月4日、9月17日	91人
【こども未来部 児童会館】		

政策6-2 とともに学び地域のきずなを育むまちづくり

施策6-2-1 学習活動の推進

(1) 学習活動の支援

○学習機会の提供

- ・関係機関、団体と連携を図り、学習機会を提供するなど、市民の主体的な活動の促進やその醸成に努めた。

○社会教育施設連携アクションプログラム

・「おびひろからわかる?!地球のようす展」

こども向け講演会「絵本にでてくる虫のおはなし」 45人

「オーシャンズ」上映会 37人

スペシャルおはなし会(環境編) 48人

ちょうちょ展～in図書館(展示)

象のうんこが生まれ変わる?!象のUNKO=Artあーと展

UNKOで運のつくお守りをつくろう!

みんなで象のUNKOアート

公園の虫・花・動物“見つけタイ” 27人

第57回科学技術映像祭 入選作品の放映 147人

・夕涼み生涯学習事業

「白石加代子百物語」上映会 24人

星空のコンサート 63人

よるの動物園 5,780人

・未来に伝えるあそび体験

特別企画展 昭和のしごと・くらし展 6,424人

スペシャルおはなし会とむかし遊び体験 145人

昭和の遊び道具たち展 1,782人

動物園いきものジャンボカルタとり 11人

ぐにゃぐにゃたこをつくろう 14人

ふわふわたこをつくろう 123人

ポリ鳥風作り	61人
・アイヌ民族・文化	
アイヌ語で自然かんさつ	8人
・その他	
調べてみよう！動物のこと	22人
食べる・たいせつフェスティバル（展示）	
・よりどりみどりがおかフェスタ！	
スタンプラリー	237人
夏休みわくわく教室	615人
まが玉作り・昔の道具で重さをはかろう	377人
いないいないばあ！うちわをつくろう・ハッピーおはなし会・	
ナウマン号inみどりがおか	392人
動物園ガイドツアー・とびたて！ふわふわロケット	213人
その他（みどりと花のセンター・美術館協力）	102人
・広報の共同化の推進	
4館連携パンフレットの作成・配布「散策マップ」	4,000部
	【こども未来部 児童会館, 生涯学習部 百年記念館・図書館・動物園】

政策7-1 互いに尊重し思いやりのあるまちづくり

施策7-1-4 アイヌの人たちの誇りの尊重

(1) アイヌ民族の歴史・文化に関する理解の促進

○アイヌ民族理解促進

・アイヌ生活文化展の開催などにより、アイヌ民族の歴史・文化に関する理解を促進するとともに、アイヌ施策推進計画に基づき、アイヌの人たちの施策を総合的に推進した。

・アイヌ生活文化展開催状況

民具・手工芸品・パネルの展示、アイヌ文化体験コーナー、啓発資料の配布

7月23日～24日 とかちプラザ

10月2日 生活館

10月28日～11月11日 大空小学校

1月11日～2月8日 とかち帯広空港

2月8日～2月14日 市庁舎市民ホール

○アイヌの伝統的生活空間（イオル）再生事業

・アイヌ文化の保存・伝承活動推進のため、その拠点となるアイヌの人たちの生活圏であったイオルの再生・整備事業を実施した。

【保健福祉部 社会課, 生涯学習部 文化課】

(2) 生活・教育環境の向上

○アイヌ福祉推進

・生活相談や指導により、アイヌの人たちの生活の向上を図った。

相談件数 193件

相談内容 生活（53件） 健康（89件） 教育（7件） その他（44件）

・帯広アイヌ協会の活動を支援し、アイヌの人たちの自主的な活動を促進した。

○生活館管理運営

- ・アイヌの人たちの活動拠点である生活館の管理運営を通して、生活・文化の向上を図った。

生活館利用状況

延利用件数 1, 401件（うちアイヌ延利用件数 288件）

延利用者数 20, 974人（うちアイヌ延利用者数 3, 080人）

主な利用内容 エテケカンパの会、アイヌ刺繍教室、帯広カムイトウウポポ保存会等

【保健福祉部 社会課】